

高病原性鳥インフルエンザの発生が継続中!!

今シーズン、11月5日に高病原性鳥インフルエンザが確認されてから、12月8日までに6県19事例25農場で発生が確認されており、230万羽以上の家きんが殺処分される等、甚大な被害を及ぼしています。

また、道内の紋別市その他、鹿児島県や新潟県においても野鳥の糞便等から同様のウイルスが検出されており、今季は、本病の発生リスクが非常に高くなっていますので、

県名	農場数	羽数
香川県	15	172.9万羽
福岡県	1	9.4万羽
兵庫県	1	14.6万羽
宮崎県	5	20.9万羽
奈良県	1	8.3万羽
広島県	2	13.4万羽

農場の設備・消毒体制を再点検してください！

点検

野生動物が侵入する場所がないか確認！

改善

畜舎の壁や屋根が破損していると、野生動物が侵入します。破損部を修繕し、ネット等を設置し隙間をふさいでください。修繕に時間がかかる場合は、段ボール等の身近な物品で応急処置してください。



(農林水産省HPより)



(農林水産省HPより)



(農林水産省HPより)

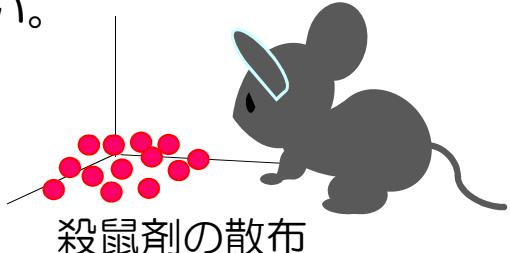
- ネット網目は2cm以下とし、2cm以上の場合はネットを二重にする。
- 畜舎に集卵ベルトや飼料パイプ、堆肥排泄ためのコンベア等の開口部がある場合、野生動物が侵入する隙間ができやすいので、ネット等を設置する。

点検

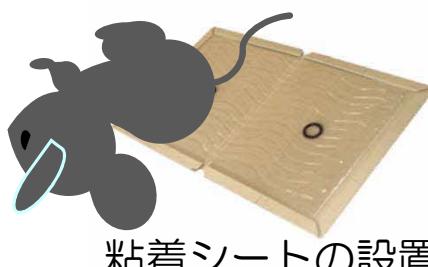
ねずみの駆除を徹底する！

改善

畜舎内のねずみは、殺鼠剤や粘着シートにより、定期的に駆除して下さい。



殺鼠剤の散布



粘着シートの設置

点検

長靴の履き替えと消毒の徹底を確認！

改善

野外を歩いた長靴には鳥インフルエンザウイルスが付着している可能性があります。畜舎内に持ち込まないためにも、畜舎専用長靴に履き替え、消毒を徹底すること。

また、履き替え場所はすのこ等を活用し、履き替え前後の長靴によるウイルスの交差汚染を防ぎましょう。



点検

ため池への野鳥の飛来防止対策を確認！

改善

小さなため池でも、野鳥が飛来し生活している場合があります。農場の敷地内や鶏舎の近くにため池等があると、この野鳥が農場の敷地内にウイルスを含む糞便を落とす可能性が高くなりますので、ため池の水を抜いたり、忌避テープやてぐす、ネット等を活用し、飛来を防止しましょう。



忌避テープの活用



ため池の水抜き

飼養家さんに異状が確認された場合は、直ちに、家畜保健衛生所まで通報してください。